

日本仏教社会福祉学会機関誌

日本仏教社会福祉学会年報

第1号(一九六九年)→第26号(一九九五年)

〔復刻版〕

全八巻

B5判・A5判／上製クロス装／総三、四三二ページ

● 縮定価＝本体十二万円十税

● 推薦＝吉田久一・阿部志郎

仏教社会事業の研究と推進に関心を持つ
関係者によつて創立された

日本仏教社会福祉学会の機関誌。

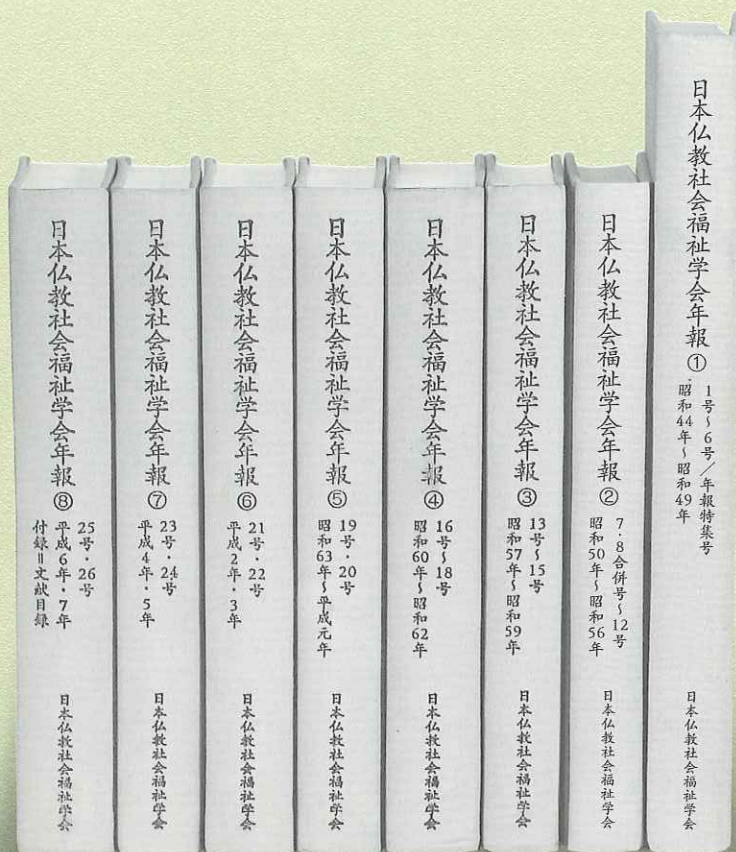
長らく欠号になっていた

第三号から第二六号を合本にして復刻。

現在も継続刊行されている本誌には、

多くの貴重な研究論文が収録されている。

二〇〇四年十月一括刊行！



不二出版

『日本仏教社会福祉学会年報』の復刻を喜ぶ

仏教福祉が世界の社会福祉に寄与できるのは次の三点かと思う。(1)アラブ世界と強国アメリカとの争乱の中で、現在、宗教の平和がためされている。仏教は、「不殺生戒」を教理とする平和な宗教である。社会福祉は平和なくして成立しない。(2)「市場経済」のグローバル化が、環境汚染や破壊をもたらし、社会問題を生んでいる。仏教はあらゆる「生」あるものの「仏性」を保障している。「市場経済」万能の反社会福祉性・非人間性に歯止めをかけるのが仏教福祉の役割である。(3)欧米社会福祉の原点である「自己決定」理念を吸収しながら、仏教教理の「自他不二」に基づく「共生」を発展させるのも仏教福祉の役割である。

現在日本の津々浦々に寺院がある。そして住職は知識層である。そこに望まれるのは、(1)ボランティアの日本全国への普及、それを通じての地域福祉。(2)福祉サービスは、単なる方法ではなく、全生活的全人的サービスである。(3)「最後の一人の権利」の護持である。

この度『日本仏教社会福祉学会年報』が復刻されるという。諸論文からこれらの点を学び、仏教福祉研究の前進に役立てたい。

(よしだきゆういち)

吉田久一 (日本社会事業大学名誉教授)

社会福祉の基本理念を考える上で必備の文献

社会福祉の展開を振り返る時、洋の東西を問わず、そこには宗教思想および宗教者の関わりが重要な役割を果たしていたと言えよう。わが国では、近代以降のキリスト教による活動も知られるところであるが、仏教者の関わりはさらに古く、古代社会以来さまざまな活動がおこなわれているのである。

また、宗教と福祉との関係は、決して過去の歴史的な事象の上に見られる活動のみではないことは勿論である。近年の社会福祉の状況を見るにつけても、専門的な福祉従事者のみでなく、広く多くのひとびとが社会福祉の根底に横たわっている、人間に関する基本的な理念について考えることは重要であろう。その理念は近代のヒューマンイズムの例を引くまでもなく、宗教的思想を背景としている場合が多いのである。

この度、わたしも会員の末端に加わらせて頂いている『日本仏教社会福祉学会年報』が復刻の運びとなった。創設以来四十余年の歴史を有する日本仏教社会福祉学会のさまざまな研究成果が、会員以外の方々にも入手できるようになったことは、幸いなことである。仏教社会福祉の専門研究者や実践者による研究や論議の積み重ね、特に仏教社会福祉学を立ち上げていった先輩たちの活発な意見交換は、社会福祉の基本理念や仏教社会福祉の意味を考える上で、現在でも有用な示唆を与えているのである。諸氏の読をお勧めする次第である。

(あべしろう)

大谷派慈善協会刊「1911年～1919年刊」
救済 全9巻・別冊1

本誌は、真宗大谷派の僧・大草慈美が設立した福祉団体「大谷派慈善協会の機関誌である。貧困者・失業者・無宿者の救済、刑罰終了者の社会復帰事業、被差別部落の改善、禁酒運動、ハンセン病患者への対策、そして児童保護事業、知的障害児教育など豊富な資料が掲載されている。これまでに近代社会福祉事業といえはキリスト教の活動が主に語られてきたが、仏教者の新たな事業活動の展開については十分に考察されていない。仏教社会福祉の原点として復刻する。

別冊Ⅱ解説(佐賀枝夏文)・総目次・索引
別冊Ⅲ解説(長谷川匡俊・吉田久一)
本体価格163,000円+税/02年1月配本完結(復刻版)
●推薦Ⅱ長谷川匡俊・吉田久一

使命社・東京孤児院・東京育成園刊「1899年～1912年刊」
東京孤児院月報 全3巻・別冊1・付録1

身よりのない子どもたちをただ「収容」するのではなく、ひとりひとりの子どもの人権を中軸に据え、「家庭」として子どもたちを受け入れ育てた東京孤児院・東京育成園・平等と人権、反戦・平和を基調としたその理念は、ようやく表面化してきた児童虐待の問題や子ども福祉一般について、今なお大きな示唆を与えている。社会福祉のみならず、児童教育・社会思想史研究にとっても第級の資料である。

別冊Ⅱ解説(丹野喜久子)・総目次・索引
付録Ⅱ東京育成園創立百周年記念「東京育成園」創立から明治大正期(分売可)Ⅱ5,000円
A4判・B5判・四六判・上製・総1,842頁
本体価格80,000円+税/03年6月刊(復刻版)
●推薦Ⅱ吉田久一・仲村優一

原胤昭主筆「1894年～1896年刊」
獄事叢書 全3巻・別冊1

本誌は、出獄人更生事業で知られるキリスト教教師・原胤昭が、監獄を囚人懲罰でなく囚人更生のために改良しようとして監獄改良運動の機関誌である。発行は北海道樺戸にある集治監内の同情会。かつて筆禍事件によって自らも下獄した経験のある原は、同志社出身の教師たちを集め、監獄改良事業を展開した。北海道の監獄のユースを掲載し、監獄改良論を披露すると同時に外国の監獄事業を紹介するなど、監獄改良を志す人々に情報を発信した。

別冊Ⅱ解説(室田保夫)・総目次・索引
A5判・上製・総1,272頁
本体価格45,000円+税/98年9月刊(復刻版)
●推薦Ⅱ重松一義・谷昌恒

社会事業史学会編

社会事業史研究

- | | |
|--|--|
| 第1号 特集・処遇史
本体2,500円・'73年10月刊 | 第17号 特集・障害者福祉史
本体3,000円・'89年11月刊 |
| 第2号 特集・施設史
本体2,500円・'74年10月刊 | 第18号 特集・戦後社会事業
本体3,000円・'90年10月刊 |
| 第3号 特集・地方史
本体2,000円・'75年10月刊 | 第19号 特集・児童福祉施設史の研究
本体3,000円・'91年10月刊 |
| 第4号 特集・第二次大戦下の社会事業
本体2,000円・'76年10月刊 | 第20号 特集・救済
本体3,000円・'92年10月刊 |
| 第5号 特集・医療社会事業
本体2,000円・'77年10月刊 | 第21号 特集・社会事業成立期の人物像
本体3,000円・'93年9月刊 |
| 第6号 特集・社会事業従事者の歴史
本体2,000円・'78年10月刊 | 第22号 特集・障害者福祉史
本体3,000円・'94年10月刊 |
| 第7号 特集・貧困
本体2,000円・'79年10月刊 | 第23号 特集・社会福祉における公私関係の歴史
本体3,000円・'95年10月刊 |
| 第8号 特集・社会事業における女性史
本体2,300円・'80年10月刊 | 第24号 特集・戦時・戦後改革期の社会事業
本体3,000円・'96年12月刊 |
| 第9号 特集・両大戦期の社会事業
本体2,300円・'81年10月刊 | 第25号 特集・災害と社会福祉
本体3,000円・'97年10月刊 |
| 第10号 特集・地域福祉研究
本体3,000円・'82年10月刊 | 第26号 特集・児童福祉の歴史
本体3,000円・'98年10月刊 |
| 第11号 特集・絶対主義下の救済制度
本体3,000円・'83年9月刊 | 第27号 特集・20世紀末の社会福祉
本体3,000円・'99年10月刊 |
| 第12号 特集・留岡幸助研究
本体3,000円・'84年10月刊 | 第28号 特集・高齢者福祉の歴史
本体3,000円・'00年10月刊 |
| 第13号 特集・感化救済事業と地方改良
本体3,000円・'85年9月刊 | 第29号 特集・宗教活動と社会事業の成立
本体3,000円・'01年10月刊 |
| 第14号 特集・老人福祉の歴史
本体3,000円・'86年11月刊 | 第30号 特集・公的扶助の日本的形成
本体3,000円・'02年10月刊 |
| 第15号 特集・比較救済制度史
本体3,000円・'87年10月刊 | 第31号 特集・旧植民地時代の社会事業史
本体3,000円・'03年12月刊 |
| 第16号 特集・社会事業(福祉)理論史
本体3,000円・'88年10月刊 | |

目次

一、公開講演	日本社会事業大学名誉教授 吉田久一……1
二、公開シンポジウム	司会 龍谷大学 中垣昌美……22
仏教福祉とターミナルケア	演者 前大正大学 原田正二
	龍谷大学 黒川昭登
	東京都医師会 福井光寿
三、研究論文	淑徳大学 上原英正……73
一、親鸞の福祉思想―主体性と連帯性―	淑徳短期大学 梅原基雄……93
二、近代日本免因保護事業史における仏教寺院の役割	常葉学園浜松大学 原田克己……119
三、ターミナル・ケアにおけるホスピスとビハラー	
四、実践報告	老人ターミナルケアの問題
	―特別養護老人ホームでの実践を通じて―
	こぶし園 兼頭吉市……131
五、施設紹介	施設処遇の拡大と地方寺院の開放
	済美会 菅野弘一……163
六、学会だより	一、事務局報告
	二、会則・理事会規定
	三、会員名簿
	四、編集後記
	213 199 174 167

第21号「目次」より

第19号より

内容見本

実践記録

老人・病人に対する仏教ケア

一、仏教ケア研究会の結成

日進月歩の技術革新にともなう産業社会の急激な構造的変化は、人間の対自然関係や対人関係のあり方に基本的なゆがみをもたらし、それが人間意識の深層にまでおよびつつある。この時代的課題に、転迷開悟を説き、抜苦与楽の道を示してきた仏教は、具体的にどのようなように応えているか。また応えるべきか。

例えば、急激な高齢化社会、人工長命時代の到来とともに、人類普遍の「生老病死」の苦が、新らたなしかも複雑な様相をおびてきつつある。その典型的な現われが、家族をはなれて施設・病院内で孤独と不安に直面しつつ生きる老人や病人の増加である。現代の福祉と医療の最前線は、孤独と不安のなかで後期高齢期を生きる人たちが、慢性病、難病をかかえ、あるいは死と向きあいながら生きる人たちに對する全人的ケアのあり方を、真剣に摸索しはじめている。とくにこの人たちの深い精神的な求めに對しては、宗教者、仏教者への期待を急速に強めてきているように思われる。

仏教ケア研究会代表 西 光 義 敬

—109—

「公開シンポジウム」

日本における仏教福祉の原点を探る

司会 池田 佛教大学の池田でございます。「日本における仏教福祉の原点を探る」というテーマで、本日シンポジウムが行なわれます。その司会をおおせつっております。司会ということになりますと、タイムキーパーの役とコーディネイトの役割をしなければならぬのでしようけれども、コーディネイトの役割まではとてもできそうにありません。最初シンポジウムをどういうテーマにしようかということとを相談いたしましたとき、「仏教福祉の原点を探る」に決定しました。それはインド、中国にまで拡げるわけにはいかないから日本に限定したのでありますが、いまになつて考えてみますと、下手に制限してしまうとかえつて話がしんどくなつてしまふような気がいたします。仏教福祉の原点という問題であります。現在の社会福祉の状況のなかで仏教福祉なるものがどういう意味をもつのか、議論がなされているのですが、必ずしも明らかにされていないというふうにも思われるわけです。そういうときにあえてこうしたテーマを掲げたことはいろいろな意味で難しい問題だろうという気がいたします。ご覧いただいておりますように「原点」ではございますが、古典を探るといふようにには決しておりません。仏教福祉の問題を古典、仏典のなかから議論するということは、それでいろいろ大切な問題も含まれているのですが、ここではあえて仏典に問題を探るといふのはなしに日本の先人あるいは先祖の方々の、いかなれば行実というか生きざまというか、そういったものを歴史の諸段階のなかで探つて頂く。古典・仏典のなかから取り出すよりも、そうした先人の行実のなか

—18—

第25号より

大谷派慈善協会刊「1911年〜1919年刊」
救済 全9巻、別冊1

本誌は、真宗大谷派の僧・大草慧実が設立した福祉団体「大谷派慈善協会の機関誌である。貧困者、失業者、無宿者の救済、刑期終了者の社会復帰事業、被差別部落の改善、禁酒運動、ハンセン病患者への対策、そして児童保護事業、知的障害児教育など豊富な資料が掲載されている。これまで近代社会福祉事業といえはキリスト教の活動が主に語られてきたが、仏教者の新たな事業活動の展開については十分に考察されていない。仏教社会福祉の原点として復刻する。

別冊Ⅱ解説(佐賀枝夏文)・総目次・索引
菊判・上製・総4、888頁
本体価格163,000円十税/02年1月配本完結「復刻版」
●推薦Ⅱ長谷川匡俊・吉田久一

使命社・東京孤児院・東京育成園刊「1899年〜1912年刊」
東京孤児院月報 全3巻、別冊1、付録1

身よりのない子どもたちをただ「収容する」のではなく、ひとりひとりの子どもの人権を中軸に据え、「家庭」として子どもたちを受け入れ育てた東京孤児院「東京育成園。平等と人権、反戦、平和を基調としたその理念は、ようやく表面化してきた児童虐待の問題や子どもの福祉一般について、今もなお大きな示唆を与える。社会福祉のみならず、児童教育、社会思想史研究にとつても第1級の資料である。

別冊Ⅱ解説(丹野喜久子)・総目次・索引
付録Ⅱ東京育成園創立百周年記念「東京育成園」創立から明治・大正期(分売可)Ⅱ5,000円
A4判・B5判・四六判・上製・総1,842頁
本体価格80,000円十税/03年6月刊「復刻版」
●推薦Ⅱ吉田久一・仲村優一

原胤昭Ⅱ主宰「1894年〜1896年刊」
獄事叢書 全3巻、別冊1

本誌は、出獄人更生事業で知られるキリスト教教諭・原胤昭が、監獄を囚人懲罰でなく囚人更生のために改良しようとして起こした監獄改良運動の機関誌である。発行は北海道樺戸にある集治監内の同情会。かつて筆禍事件によって自らも下獄した経験のある原は、同志社出身の教諭たちを集め、監獄改良事業を展開した。北海道の監獄のユースを掲載し、監獄改良論を披瀝すると同時に外国の監獄事業を紹介するなど、監獄改良を志す人々に情報を発信した。

別冊Ⅱ解説(室田保夫)・総目次・索引
A5判・上製・総1,272頁
本体価格45,000円十税/98年9月刊「復刻版」
●推薦Ⅱ重松一義・谷昌恒

社会事業史学会編

社会事業史研究

- | | |
|--|--|
| 第1号 特集・処遇史
本体2,500円・'73年10月刊 | 第17号 特集・障害者福祉史
本体3,000円・'89年11月刊 |
| 第2号 特集・施設史
本体2,500円・'74年10月刊 | 第18号 特集・戦後社会事業
本体3,000円・'90年10月刊 |
| 第3号 特集・地方史
本体2,000円・'75年10月刊 | 第19号 特集・児童福祉施設史の研究
本体3,000円・'91年10月刊 |
| 第4号 特集・第二次大戦下の社会事業
本体2,000円・'76年10月刊 | 第20号 特集・救済
本体3,000円・'92年10月刊 |
| 第5号 特集・医療社会事業
本体2,000円・'77年10月刊 | 第21号 特集・社会事業成立期の人物像
本体3,000円・'93年9月刊 |
| 第6号 特集・社会事業従事者の歴史
本体2,000円・'78年10月刊 | 第22号 特集・障害者福祉史
本体3,000円・'94年10月刊 |
| 第7号 特集・貧困
本体2,000円・'79年10月刊 | 第23号 特集・社会福祉における公私関係の歴史
本体3,000円・'95年10月刊 |
| 第8号 特集・社会事業における女性史
本体2,300円・'80年10月刊 | 第24号 特集・戦時・戦後改革期の社会事業
本体3,000円・'96年12月刊 |
| 第9号 特集・両大戦期の社会事業
本体2,300円・'81年10月刊 | 第25号 特集・災害と社会福祉
本体3,000円・'97年10月刊 |
| 第10号 特集・地域福祉研究
本体3,000円・'82年10月刊 | 第26号 特集・児童福祉の歴史
本体3,000円・'98年10月刊 |
| 第11号 特集・絶対主義下の救済制度
本体3,000円・'83年9月刊 | 第27号 特集・20世紀末の社会福祉
本体3,000円・'99年10月刊 |
| 第12号 特集・留岡幸助研究
本体3,000円・'84年10月刊 | 第28号 特集・高齢者福祉の歴史
本体3,000円・'00年10月刊 |
| 第13号 特集・感化救済事業と地方改良
本体3,000円・'85年9月刊 | 第29号 特集・宗教活動と社会事業の成立
本体3,000円・'01年10月刊 |
| 第14号 特集・老人福祉の歴史
本体3,000円・'86年11月刊 | 第30号 特集・公的扶助の日本の形成
本体3,000円・'02年10月刊 |
| 第15号 特集・比較救済制度史
本体3,000円・'87年10月刊 | 第31号 特集・旧植民地時代の社会事業史
本体3,000円・'03年12月刊 |
| 第16号 特集・社会事業(福祉)理論史
本体3,000円・'88年10月刊 | |

日本仏教社会福祉学会年報「復刻版概要」

全八巻

日本佛教
社会福祉学会年報

昭和44年4月
①

日本佛教社会福祉学会

JAPANESE JOURNAL OF BUDDHIST SOCIAL WELFARE STUDIES	
Volume 28	Sept. 1999
CONTENTS	
PUBLIC LECTURE KANASADA Ryosho: On Shin KUTEN Life and Thought	1
SYMPOSIUM Buddhist Social Welfare and The International Year of the Family	15
Reporters: ABE G., IWANE K., KASAHARA M. Coordinator: KUROUCH M.	
ARTICLES KANAWARAKA Shigeki: Comparison in Pali Buddhism	61
TANIYAMA Yoko: An Interpretation of Money	83
The Origin of Thoughts of Social Welfare in Early Buddhism	
MURAI Ryo: TAKINURA Masao	105
Trends of Buddhist Aid for Discharged Criminals in Tokyo	
SHIMIZU Kenzo: A Study of the Origins of Welfare in a Buddhist Temple	127
KATSUMI Taro: The Organized Practice of Buddhist Social Welfare in Kanagawa	139
REPORTS YUTSUKI Shiroko: The Use of Welfare in the Markkya systematized by KUKAI	152
ASSOCIATION NOTE SOCIETY RULES & BOARD REGULATIONS	171
MEMBERSHIP LIST	187
JAPANESE ASSOCIATION FOR BUDDHIST SOCIAL WELFARE STUDIES	

●復刻版巻数 ●原本号数

●原本発行年

第1巻	第1号、第6号／年報特集号	昭和44年、昭和49年
第2巻	第7・8合併号、第12号	昭和50年、昭和56年
第3巻	第13号、第15号	昭和57年、昭和59年
第4巻	第16号、第18号	昭和60年、昭和62年
第5巻	第19号、第20号	昭和63年、平成元年
第6巻	第21号、第22号	平成2年、3年
第7巻	第23号、第24号	平成4年、5年
第8巻	第25号、第26号 付録Ⅱ文献目録	平成6年、7年

●体裁

●縮定価

B5判・A5判／上製クロス装／総三、四三三ページ
本体十二万円十税
ISBN4-8350-4564-5

●推薦

●刊行

吉田久一(日本社会事業大学名誉教授)
阿部志郎(神奈川県立保健福祉大学学長)
二〇〇四年十月

不二出版

T113・0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話03・3812・4433
FAX03・3812・4464
振替001600・294084

●表示価格はすべて税別。

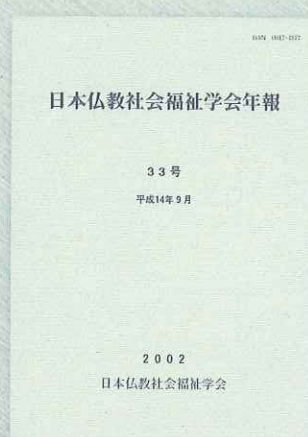
日本仏教社会福祉学会年報

日本仏教社会福祉学会=編集・発行 不二出版=発売



バックナンバー(在庫分)のご案内

第27号～第34号
(1997年～2003年)



不二出版

第27号 平成9(1997)年刊

〔公開講演〕

真言宗と社会福祉—高野山の場合— ……和多 秀乗

〔公開シンポジウム〕

仏教福祉と地域社会—地域相扶と「共済」
……………演者 池田 敬正
重田 信一
司会 岩見 恭子

〔特別分科会〕「仏教福祉と阪神・淡路大震災」

阪神大震災救助活動……………川原 光祐

阪神・淡路大震災における真宗本願寺派寺院の
被災状況および救援活動の実態……………村井 龍治
中垣 昌美

阪神大震災と仏教福祉……………桂 泰三

高野山大学のボランティア活動報告……………所 祥瑞
司会 菊池 正治
宮城洋一郎

〔研究論文〕

仏教社会福祉に関する日韓の比較研究
—その1 韓国・曹溪宗の仏教福祉活動を中心に—
……………株本 千鶴
金 慧棹
田宮 仁

瓜生 岩と児童教育事業……………合田 誠

仏教婦人会活動と社会事業
—浄土真宗本願寺派の仏教婦人会を手がかりに—
……………中垣 昌美
徳広 圭子

〔活動報告〕

ア—ユス（仏教国際協力ネットワーク）の活動に
ついて……………水谷 浩志

第28号 平成9(1997)年刊

〔公開シンポジウム〕

仏教福祉再考……………シンポジスト 長谷川匡俊
中垣 昌美
高石 史人
司会 石川 到覚

〔研究論文〕

近代社会と仏教福祉実践—九条武子と関東大震災—
……………佐賀枝夏文

安達憲忠の仏教社会事業思想—『貧か富か』を中心に—
……………土井 直子

仏教司法福祉実践試論—高齢者離婚事件—
……………桑原 洋子
東 一英
吉元 信行
新居 澄子

〔活動報告〕

東光寺における痴呆性老人のデイケアについて
……………木川 敏雄

〔研究ノート〕

浄土宗のこども図書館とコミュニティ
—児童福祉の視点から—……………栗田 修司

第29号 平成10(1998)年刊

〔公開講演〕

日米ボランティア考……………猿谷 要

〔公開シンポジウム〕

仏教とボランティア活動
……………シンポジスト 中嶋 儀一
有馬 実成
大河内秀人
コメンテーター 重田 信一
コーディネーター 石川 到覚

〔研究論文〕

高齢者離婚事例に見る現代家族の危機……………東 一英

仏教社会福祉に関する日韓の比較研究
—その三 仏教系老人福祉施設利用者の生活実態を
めぐって—……………株本 千鶴
金 貞鏞
田宮 仁

戦前期における浅草寺社会事業に関する考察
—『浅草寺社会事業年報』をめぐって—……………大久保秀子

〔海外情報〕

バングラデシュの仏教福祉 その1
—Āśram(養護施設)—……………谷山 洋三

第30号 平成11(1999)年刊

〔公開講演〕

臨終と福祉—仏教とターミナル・ケア—……………庵谷 行亨

〔公開シンポジウム〕

臨終と福祉……………シンポジスト 庵谷 行亨
柴田 寛彦
金 貞鏞
コメンテーター 水谷 幸正
コーディネーター 田宮 仁

〔特別寄稿〕

日本仏教社会福祉学会の回顧と展望
—博明のなかにたたずみ想う—……………西光義敏

〔研究論文〕

中西雄洞の修養論
—『労働共済』誌上にみる商工青年会と中西雄洞—
……………土井直子

〔海外情報〕

バングラデシュの仏教福祉 その2
—仏教とターミナル・ケア—……………谷山 洋三

〔研究ノート〕

仏教社会福祉の主體的契機について……………長崎 陽子

第31号 平成12(2000)年刊

〔公開講演〕

今、宗教福祉に問われるもの……………阿部 志郎

〔公開シンポジウム〕

戦後日本の仏教系社会福祉事業の歩みと展望
……………シンポジスト 宮城洋一郎
落合 崇志
梅原 基雄
清水 海隆
コーディネーター 長谷川匡俊

〔研究論文〕

戦後の部落問題と仏教……………近藤 祐昭

〔調査報告〕

寺院地域福祉活動の現状と可能性
—本願寺派教団単位地域ブロック委員の意識調査を
踏まえて—……………小笠原慶彰
中垣 昌美

〔研究ノート〕

浄土教福祉論の思想的問題……………鈴木 善鳳

第32号 平成13(2001)年刊

〔公開講演〕

アフリカの人々と動物……………諏訪 兼位

〔公開シンポジウム〕

子どもと仏教福祉……………シンポジスト 佐賀枝夏文
小野木義男
寺西伊久夫
宇治谷義雄
コメンテーター 奈倉 道隆
コーディネーター 吉田 宏岳

〔研究論文〕

記憶障害者（健忘症）と介護者のみちゆき
—孤独・求愛の真情に共感する存在(菩薩)—
……………喜多 祐莊

仏教福祉と仏教看護
—看護における五つの側面の配慮を通して—
……………藤腹 明子
田宮 仁

近代仏教社会事業実践の成立と終焉
—真言宗智山派を事例にして—……………山口 幸照

〔実践報告〕

浅草寺福祉会館における思春期への取り組み
—スクールソーシャルワーク実践の試み—
……………金田 寿世
渡辺 智明
石川 到覚
壬生 真康

〔研究ノート〕

仏教と精神保健福祉に関する研究
—家族の位置づけをめぐって—……………熊澤 利和

介護サービス提供と仏教介護
—介護実践の立場から—……………佐伯 典彦

第33号 平成14(2002)年刊

〔公開講演〕

仏教・いのち・福祉小川 一乗

〔資料紹介〕

完成初期の「成田山五事業」の概要および
成田感化院事業の特異性に関する一考察 …藤森 雄介

〔実践報告〕

仏教福祉学のキーワードを探る その1・福田
—ビハラー病棟での実践を通して—谷山 洋三

〔研究論文〕

仏教慈善病院「済世病院」と小林参三郎 …中西 直樹

〔公開シンポジウム〕

21世紀における仏教福祉の課題と展望
.....シンポジスト 東 一英
宇佐 晋一
三友 量順
長谷川匡俊
コーディネーター 佐賀枝夏文

第34号 平成15(2003)年刊

〔公開講演〕

都市の中のもうひとつの癒しの場
—コミュニティと寺院の関係を再考する—
.....秋田 光彦

〔研究論文〕

仏教における慈悲と福祉池田 敬正

〔実践報告〕

特養ホーム利用者への終末期の声かけに関する
仏教的考察佐伯 典彦

〔研究ノート〕

ビハラー活動における超宗派の取り組み方について
—ビハラー病棟での実践を通して—大河内大博

〔実践報告〕

仏教福祉学のキーワードを探る その2・苦
—ビハラー僧のスピリチュアル・ケア—谷山 洋三

仏教系社会福祉施設運営・経営とリスクマネージ
メントの登場について
—運営から経営へ変革迫られる社会福祉施設の課題—
.....安部 行照

〔研究論文〕

感化救済事業奨励下の仏教慈善病院中西 直樹

仏教ソーシャルワーカーの可能性を考える上で
.....熊澤 利和

仏教ソーシャルワーカーの可能性を考える上で
—スピリチュアル・ケアという側面に焦点をあてて—
.....藤腹 明子

仏教ソーシャルワーカーの可能性を考える上で
—期待と危惧—田宮 仁

〔公開シンポジウム〕

「仏教ソーシャルワーカー」の可能性
—仏教社会福祉専門職養成にむけて—
.....シンポジスト 石井 勲
森田 俊朗
落合 崇志
コメンテーター 村井 龍治
コーディネーター 小笠原慶彰

〔第37回大会公開講演〕

都市の中のもうひとつの癒しの場

——コミュニティと寺院の関係を再考する——

宗教都市としての大阪

本日は日本仏教社会福祉学会大会開催おめでとうございます。事務局の方から仏教福祉について大阪らしい実践報告をせよ、というご指示をいただきましたので、しばらくおつきあいいただければ幸いです。

さて、大阪と言いますと、みなさん連想されますのが、タコヤキとお笑い、阪神タイガースと相場が決まっております。西日本を代表する近代都市である一方、実は意外にも、大阪は堂々たる宗教都市の相貌を持っております。文化庁の『宗教年鑑』によれば、全国で一番お寺が多い都道府県は愛知県、つぎに京都府、三番目に大阪が来ます。大阪はたいへん面積が狭いのですが、そこに三千余りのお寺がひしめき合っております。私が住職を務める應典院は大阪市の天王寺区(四天王寺さんのある地区です)は、この区だけで約三百ものお寺が薈を並べており、全国有数のお寺密集区ではないかと思えます。

なぜ、かように大阪は寺が多いのか、これには歴史的な理由があります。

日本仏教史において、大阪という都市が果たした役割について、大きく四つくらいの節に分けることができます。まず第一期は飛鳥の時代、仏教の黎明期、一五〇〇年前に四天王寺が開創されました。日本仏教伝来の輝かしい第一頁が大阪で生まれます。次に第二期、中世浄土教の聖地として四天王寺、あるいは浄土宗の開祖法然上人が日想観に励まれた一心寺などが発展します。この四天王寺さんと一心寺さん、ちようどお向かいにありまして、大阪の信仰のメッカということで、今も彼岸や盆にはたくさんの参詣客で賑わいます。

第三期には、近世初期、最近ブームとなった浄土真宗の中興の祖・蓮如聖人の活躍です。蓮如聖人が設けた石山本願寺というお寺は寺内町を形成し、いわば民衆による自治区としての先駆けでありました。そして第四期、江戸時代中期、町民文化の開花と共に大阪市内の寺町では特有の文化が發展します。

バックナンバー 在庫一覧

第27号	2,000円	A5判・並製・192頁／平成9(1997)年10月刊	
第28号	2,000円	A5判・並製・182頁／平成9(1997)年10月刊	
第29号	2,000円	A5判・並製・174頁／平成10(1998)年9月刊	
第30号	2,000円	A5判・並製・168頁／平成11(1999)年9月刊	
第31号	2,000円	A5判・並製・154頁／平成12(2000)年9月刊	
第32号	2,000円	A5判・並製・188頁／平成13(2001)年9月刊	
第33号	2,000円	B5判・並製・120頁／平成14(2002)年9月刊	ISBN4-8350-1444-8
第34号	2,500円	B5判・並製・200頁／平成15(2003)年9月刊	ISBN4-8350-1445-6

※年1回刊行

定期購読受付中!

関連
図書

大谷派慈善協会機関誌

救済

一九二二年八月〜一九二九年二月〔復刻版〕

全九巻十別冊

本誌は、真宗大谷派の僧・大草慧実が設立した福祉団体「大谷派慈善協会の機関誌である。貧困者・失業者・無宿者の救済、刑期終了者の社会復帰事業、被差別部落の改善、禁酒運動、ハンセン病患者への対策、そして児童保護事業、知的障害児教育など豊富な情報が掲載されている。これまで近代社会福祉事業といえはキリスト教の活動が主に語られてきたが、仏教者の新たな事業活動の展開については十分に考察されていない。仏教社会福祉の原点として復刻する。

体裁●菊判／上製／総四八八ページ

別冊●解説(佐賀枝夏文)・総目次・索引

(別冊のみ分売可)本体(一〇〇〇円十税)

ISBN4-8350-3112-1

揃価●本体一六万三〇〇〇円十税



不二出版

〒113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話03-3812-4433
ファクシムリ03-3812-4464
振替00160-2-94084

日本仏教社会福祉学会年報

日本仏教社会福祉学会＝編集・発行 不二出版＝発売

第36号 (最新号)



日本仏教社会福祉学会年報 36号 目次

〔第39回大会公開講演〕

アジア諸国における社会福祉の動向と課題

—社会開発アプローチの模索— 萩原康生

〔第39回大会公開シンポジウム〕

アジア諸国における仏教社会福祉

—仏教は福祉従事者の養成にどう応えるか?—

..... シンポジスト＝釋 恵敏、金 漢益、ウディタ ガルシンハ、ギャナ ラタナ

コーディネーター＝石川到覚

〔日本仏教社会福祉学会第39回大会記録〕

〔事務局報告〕

〔アジア仏教社会福祉学術交流大会 決算報告・寄付者芳名録〕

〔日本仏教社会福祉学会役員名簿〕

〔編集後記〕

〔会則・理事会規程〕

〔『日本仏教社会福祉学会年報』既刊号総目次・投稿規定〕

〔特別報告〕

アジアの仏教徒と協同して始まった社会事業 小野正遠

国を超えたいチャレンジワーク—アジア諸国に絵本を届けよう—

.....井手友子、吉川眞浩、金田寿世、渡邊智明、矢吹和子、瀬川恵子、石川到覚

仏教的スピリチュアルケアの動向—タイと日本を事例にして— 浦崎雅代

〔海外情報〕

スリランカの難民子弟救援の仏教寺院 小野文瑠

〔研究論文〕

仏教者の福祉活動再考—初期經典に見るサンガの活動— 池上要靖

仏教とハンセン病

—『妙法蓮華經』における「癩」字をめぐる—考察— 奥田正叡

定価＝本体2,500円＋税
2005年12月刊

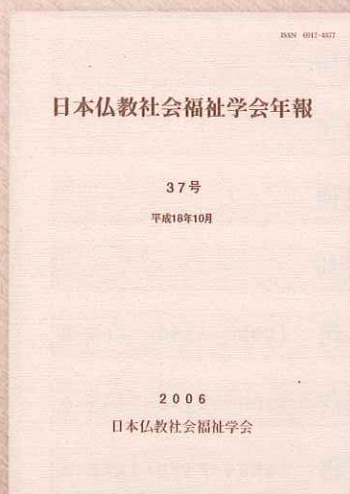
ISBN4-8350-1447-2

不二出版

日本仏教社会福祉学会年報

日本仏教社会福祉学会＝編集・発行 不二出版＝発売

第37号 (最新号)



日本仏教社会福祉学会年報 37号 目次

〔第40回大会公開講演〕

私の中のキリスト教 西村恵信

〔第40回大会公開シンポジウム〕

仏教とキリスト教との邂逅

..... シンポジスト＝阿部志郎、秋山智久、中垣昌美、田代俊孝

コーディネーター＝長谷川匡俊

〔日本仏教社会福祉学会第40回大会記録〕

〔事務局報告〕

〔日本仏教社会福祉学会役員名簿〕

〔編集後記〕

〔会則・理事会規程〕

〔『日本仏教社会福祉学会年報』既刊号総目次・投稿規定〕

〔特別報告〕

『仏教社会福祉辞典』編纂と今後の課題 中垣昌美

仏教福祉実践報告—訪問調査を通して—

..... 徳田 恵、石川到覚、長谷川匡俊

〔調査報告〕

浄土宗社会福祉事業・活動に関するアンケート調査に関する一考察

..... 関 徳子

〔研究ノート〕

仏教と心学との邂逅—遠江育児院をめぐる人びと— 三浦辰哉

僧侶がコーディネートする在宅福祉サービスについての考察 佐伯典彦

〔研究論文〕

感化事業、社会福祉、海外支援活動

—仏教感化救済会系教団にみられる近代仏教福祉の発展過程—

..... ランジャナ・ムコパディヤヤー

知的障害児はなぜ美の世界を創り出すのか

—戸川行男の『特異児童』の研究を中心に— 金子 保

定価＝本体2,500円＋税
2006年10月刊

ISBN4-8350-1448-0

不二出版

復刻版 日本仏教社会福祉学会年報・全8巻 (第1号～第26号を合本)

- ◎収録内容—— 昭和44(1969)年5月**第1号**～平成7(1995)年9月**第26号**
十昭和49(1974)年6月**年報特集号**
十昭和62(1987)年3月**仏教社会福祉関係文献目録**を合本製本
- ◎体裁—— B5判・A5判／上製／総3,432頁
- ◎揃定価—— 本体**120,000円**+税 ISBN4-8350-4564-5
- ◎刊行—— 平成16(2004)年9月

バックナンバー
一覧

第27号	2,000円	A5判・並製・192頁／平成9(1997)年10月刊	
第28号	2,000円	A5判・並製・182頁／平成9(1997)年10月刊	
第29号	2,000円	A5判・並製・174頁／平成10(1998)年9月刊	
第30号	2,000円	A5判・並製・168頁／平成11(1999)年9月刊	
第31号	2,000円	A5判・並製・154頁／平成12(2000)年9月刊	
第32号	2,000円	A5判・並製・188頁／平成13(2001)年9月刊	
第33号	2,000円	B5判・並製・128頁／平成14(2002)年9月刊	ISBN4-8350-1444-8
第34号	2,500円	B5判・並製・210頁／平成15(2003)年9月刊	ISBN4-8350-1445-6
第35号	2,500円	B5判・並製・150頁／平成16(2004)年9月刊	ISBN4-8350-1446-4
第36号	2,500円	B5判・並製・164頁／平成17(2005)年12月刊	ISBN4-8350-1447-2
第37号	2,500円	B5判・並製・200頁／平成18(2006)年10月刊	ISBN4-8350-1448-0

※年1回刊行

定期購読受付中!

不二出版
〒113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話 03-3812-4433
ファクシミリ 03-3812-4464
振替 00160・294084

●表示価格はすべて税別。